

与那国町長 外間守吉殿

与那国町への自衛隊誘致の撤回を求める要請書

貴殿の与那国町政における日頃のご活躍に敬意を表します。

与那国町への自衛隊の誘致については、誘致反対の署名が誘致賛成の署名を上回っていることと、新聞の世論調査でも町民の73.3%が反対していることにみられるように、町民の民意は明確に自衛隊の誘致に反対しています。

にもかかわらず貴殿は、さる11月17日に、防衛省と住民説明会を強行しました。町民の民意を踏みにじっての説明会の強行に強く抗議します。

貴殿は、地域活性化のために自衛隊の誘致を進めておられますが、自衛隊誘致により地域が活性化した例はありません。また、自衛隊は自立した補給体制を持っているので、配備に伴う経済効果は何にも期待することは出来ません。

自衛隊が配備されれば、台湾や中国との緊張が高まり、この間進めてきた台湾との経済交流、観光客の誘致などをとうした与那国独自の自立の道が台なしになります。さらに、自衛隊基地が出来れば、日米地位協定により米軍も駐留することになります。

国境の島の与那国に必要なのは軍隊ではなく、沖縄が中国、台湾と築いてきた友好関係の歴史を土台にした自由に往来できる経済交流の拠点です。まさに、住民参加で練り上げた「与那国自立ビジョン」の実現です。

このまま「誘致ありき」で強行すれば、地域、親、兄弟、親戚が分断される不幸な事態になり、島の将来に大きな禍根を残します。

私たちは、貴殿が自衛隊の誘致に反対する町民の民意をしっかりと受け止めて、自衛隊の誘致を撤回されんことを強く要請します。

そして2005年に町議会が採択した、台湾と国境を越えた交流促進などを行う「与那国自立・自治宣言」の立場に今一度しっかりと立ち、政府に対して国境離島振興策の充実を強く求めつつ、住民と共に与那国の持つ自然、歴史、文化などを踏まえた「島の自立」にむけて歩まれんことを要請します。

(一言メッセージ)

年 月 日

名 前

住 所